2026 年度 一般社団法人建築設備技術者協会 東北支部「建築設備士の日」記念事業（仙台）
建築・設備と関連業界で女性技術者の働きやすい環境作りと次世代育成を目指して Part5
《対面講演・リモート講演併用》

建築設備技術者協会は、毎年「建築設備士の日」（建築設備資格者を定める建設省告示（第 1526 号）の公布日《11 月 18 日》）を記念して、この前後に、本部・支部で記念行事や記念祝賀会を開催しております。

東北支部は今年度、第 1 部で建設・建築・設備の女性経営者のお話をお聞きして、建築・設備関連業界で女性が働きやすい環境作りや次世代育成ができるかを考えようと企画しました。第 2 部は、宇都宮大学の髙橋先生から、スウェーデンからの視点によるウェルビーイングなジェンダーフリーと脱炭素・循環型社会へのトランジションをテーマに講演をしていただきます。

2012 年 11 月 18 日の「建築設備士の日」に建築設備技術者協会に設備女子会が発足します。建設関係では、1983 年 1 月に土木技術者女性の会が設立、2013 年 11 月 18 日（土木の日）に一般社団法人化しました。1987 年、関東学院大学土木工学科に女子クラスができ、翌 88 年に同大学で女子学生が「ドボジョ」と呼び始めたことがきっかけで、この土木系女性技術者の愛称が生まれたとされております。2010 年以降、「リケジョ」（理系女子）や「けんせつ小町」「じゅうたく小町」などに派生しました。

学生・社会人、性別を問わず多くの方々参加していただくよう、お願い申し上げます。

主催　建築設備技術者協会東北支部

後援　空気調和･衛生工学会東北支部、電気設備学会東北支部、日本冷凍空調学会東北地区事業推進委員会、
日本建築学会東北支部環境工学部会、日本技術士会東北本部男女共同参画推進委員会、
日本設備設計事務所協会連合会北海道・東北ブロック、日本空調衛生工事業協会東北支部、
東北空調衛生工事業協会、日本電設工業協会東北支部、福島県建設業協会

日程　2026 年 12 月 4 日（金）　13：00～17：10

開催場所　宮城県管工事会館 9 階 大会議室　仙台市青葉区本町 3-5-22　TEL 022- 224-7091

定員　対面 45 名、リモート 100 名

ＣＰＤ　4.0 ポイント

参加費　学生（男女共）：無料、社会人女性：無料、社会人男性：2,000 円

申込方法　受講ご希望の方は別紙の申込書に記入の上、E-mail または FAX で下記事務局までお申込み下さい。

申込締切　11 月 25 日（水）正午　　定員に達した場合は順次締め切ります。

支払方法　建築設備技術者協会東北支部より請求書をお送りしますので、指定口座にお振り込みください。

ホームページ　建築設備技術者協会東北支部（セミナー/東北エリア）https://www.jabmee.or.jp/seminar-th/

注意事項

・銀行振込受領書をもって、領収書に代えさせていただきます。
　なお、建築設備技術者協会東北支部の請求書と領収書が必要な方は、その旨をご連絡下さい。
・配布資料は、対面受講の方もリモート受講の方にも、データをダウンロードいただくように致します。
・欠席された場合でも、受講料の払い戻しはいたしませんのでご了承下さい。

申込･問合せ先

建築設備士の日記念行事係（建築設備技術者協会東北支部事務局）
TEL：022-224-7091　FAX　：022-797-2486　E-mail：jabmee@tohoku-shibu.org

プログラム(案)

司会：建築設備技術者協会 東北支部 設備女子会運営委員会
副委員長　亀山 千春（櫻井工業株式会社 仙台支店）

時間	題目・講師等（敬称略）	
13：00～13：05	開会あいさつ	建築設備技術者協会 東北支部長　赤井 仁志 （東北文化学園大学 建築環境学科 客員教授）
13：05～15：30	【第１部】 女性経営者の立場からの建築・設備に関わる女性技術者の働きやすい環境作りや次世代育成を考える 〔パネルディスカッション〕	❶ 深松 栞（仙台 reborn 株式会社 専務取締役、株式会社深松組 取締役 経営企画室室長） ❷ 飛木 佳奈 （株式会社土田建築設計事務所 代表取締役社長、福島県建築設計協同組合 副理事長） ❸ 小林 純子 （一級建築士事務所 有限会社設計事務所ゴンドラ 代表取締役、国土交通省 トイレ設置数の基準と適用のあり方に関する協議会 座長） ● コーディネータ：太田 良治 （株式会社ユアテック 特別顧問(前・社長)、日本電設工業協会 前・副会長、前・東北支部長、東北文化学園大学 客員教授）
15：30～15：40	休　　憩	
15：40～17：10	【第２部】 スウェーデンに見るウェルビーイングなジェンダーフリーと脱炭素・循環型社会へのトランジション	髙橋 若菜（宇都宮大学 国際学部 教授）